

特集 理科 最新情報



since 1890

受験研究社

▶お使いいただいている参考書・問題集で参考にしてください。

主に中学校の内容に関する変更点^{ないよう} (2025 年 4 月現在)

- ・「イオン式」の用語は使用せずに、「イオンを表す化学式」または単に「化学式」と表記されることが多くなっています。
- ・「化合」の用語は使用されないことが多くなっています。
- 例 「鉄と硫黄^{いおう}が化合する」 ➡ 「鉄と硫黄が結びつく」
- ・「優性形質^{ゆうせいけいしつ}」や「劣性形質^{れっせいけいしつ}」の用語は使用せずに、「顕性形質^{けんせいけいしつ}」や「潜性形質^{せんせいけいしつ}」と表記されることが多くなっています。
- ・「外来種」や「在来種^{ざらいしゅ}」の用語は使用せずに、「外来生物」や「在来生物」と表記されることが多くなっています。
- ・「古生代」は、約 5 億 3900 万年前～約 2 億 5200 万年前までの時代とされています。
- ・発見された木星の衛星^{えいせい}の数は 95 個となっています。
- ・発見された土星の衛星^{えいせい}の数は 149 個となっています。

主に高等学校の内容に関する変更点^{ないよう} (2025 年 4 月現在)

- ・「希ガス」の用語は使用せずに、「貴ガス^き」と表記されることが多くなっています。
- ・12族元素^{ぞくげんそ}は、「典型元素^{てんけいげんそ}」ではなく「遷移元素^{せんいげんそ}」とされることが多くなっています。
- ・ベリリウム (Be)、マグネシウム (Mg) を含む 2 族の元素^{げんそ}すべてが「アルカリ土類元素」とされることが多くなっています。
- ・気体から固体への状態変化^{じょうたいへんか}は、「昇華^{しょうか}」ではなく「凝華^{ぎょうか}」と表記されることが多くなっています。なお、固体から気体への状態変化は、以前と変わらず「昇華」と表記されています。

その他の変更点^{へんこうてん} (2025 年 4 月現在)

- ・「オゾン層^{そう}」の破壊^{はかい}が問題視^{もんだいし}されていましたが、オゾン層を破壊するフロンなどの使用を規制^{きせい}したことにより、徐々に回復^{しよじよ}しつつあります。
- ・「キログラムの定義^{ていぎ}」が、国際キログラム原器^{こくさい}を用いた定義からプランク定数を用いた定義に改定されました。